

令和7年度大田区高齢者等実態調査 調査項目案一覧表

資料番号 3 (別紙)

1. 調査項目一覧 (高齢者一般調査・要介護認定者調査・第2号被保険者調査・未把握高齢者等世帯調査)

番号	調査項目		国 調査	質問文	回答 形式	調査票				新規
						一般	認定	2号	未把握	
1	調査対象者の確認のための項目	回答記入者	二	この調査票を記入されたのはどなたですか。	選択	はじめに	はじめに			
2		現在の住まい		調査対象者の方(あて名のご本人)は、現在どちらにお住まいですか。	選択		はじめに			
3	回答者の家族構成等に関する項目	家族構成(同居している家族等)	二	家族構成を教えてください。	選択	問1(1)		問1	問1	
4		回答者の家族構成	在	世帯類型について、ご回答ください。	選択		問1			
5		介護・介助の必要性	二	普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。	選択	問1(2)				
6	回答者の住まいに関する項目	住まいの種類	二	お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。	選択	問2	問2	問2		
7		住まいへの不安		現在の住まいについて、今後も住み続けるにあたり心配、不安に思うことはありますか。	選択	問3	問3	問3		
8	回答者の現在の生活に関する項目	生きがいの有無	二	趣味はありますか。	選択	問4	問4	問9		
9			二	生きがいはありますか。	選択	問5	問5	問10	問4	
10		現在の経済状況	二	現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。	選択	問6	問12	問11		
11	回答者の現在の生活に関する項目	日常生活での心配ごと		日常生活での心配ごとはありますか。	選択	問7	問13	問12	問12	
12		情報機器の活用状況		以下の通信・通話機器を使っていますか。	選択	問8	問7	問14	問9	★
13				通信・通話機器をどのようなことに使っていますか。	選択	問8(1)	問7(1)	問14(1)	問9(1)	★
14				スマートフォンを使用していない理由は何ですか。	選択	問8(2)				★
15		災害時の対応に対する理解		災害(台風の水害等含む)が起きた際に、どのような備えが必要か、また自らがどのように動くべきか(避難するべきか、自宅で待機すべきか)、避難先について理解していますか。	選択	問9	問11			
16	身体・生活機能に関する指標算出のための項目	身体機能の状況	二	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	選択	問10(1)				
17			二	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	選択	問10(2)				
18			二	15分位続けて歩いていますか。	選択	問10(3)				
19			二	過去1年間に転んだ経験がありますか。	選択	問10(4)				
20			二	転倒に対する不安は大きいですか。	選択	問10(5)				

番号	調査項目		国 調査	質問文	回答 形式	調査票				新規
						一般	認定	2号	未把握	
21	身体・生活機能に関する指標算出のための項目	外出の状況（頻度等）	二	週に1回以上は外出していますか。	選択	問10(6)			問7	
22			二	昨年と比べて外出の回数が減っていますか。	選択	問10(7)				
23				最寄りの駅またはバス停までの移動手段は何ですか。	選択	問10(8)			問8	★
24		食事・栄養状態・口腔機能	二	身長・体重を教えてください。	数値	問11(1)				
25			二	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	選択	問11(2)				
26		食事・栄養状態・口腔機能	二	歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）。	選択	問11(3)				
27			二	どなたかと食事をともにする機会がありますか。	選択	問11(4)				
28		認知機能の状況	二	物忘れが多いと感じますか。	選択	問12(1)				
29		生活機能（IADL）の状況	二	バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）。	選択	問12(2)				
30			二	自分で食品・日用品の買物をしていますか。	選択	問12(3)				
31			二	自分で食事の用意をしていますか。	選択	問12(4)				
32			二	自分で請求書の支払いをしていますか。	選択	問12(5)				
33			二	自分で預貯金のおし入れをしていますか。	選択	問12(6)				
34	地域活動への参加状況・参加意向に関する項目	地域活動への参加状況	二	以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。 1. ボランティアのグループ	選択	問13(1) 1.		問15(1) 1.		
35			二	2. スポーツ関係のグループやクラブ	選択	問13(1) 2.		問15(1) 2.		
36			二	3. 趣味関係のグループ	選択	問13(1) 3.		問15(1) 3.		
37			二	4. 学習・教養サークル	選択	問13(1) 4.		問15(1) 4.		
38			二	5. 介護予防のための通いの場	選択	問13(1) 5.		問15(1) 5.		
39			二	6. シニアクラブ	選択	問13(1) 6.		問15(1) 6.		
40			二	7. 自治会・町会	選択	問13(1) 7.		問15(1) 7.		
41			二	8. 収入のある仕事	選択	問13(1) 8.		問15(1) 8.		

番号	調査項目		国 調査	質問文	回答 形式	調査票				新規
						一般	認定	2号	未把握	
42	地域活動への参加状況・参加意向に関する項目	地域活動への参加意向	二	地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。	選択	問13(2)	問8	問16		
43		地域活動の担い手としての参加意向	二	地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。	選択	問13(3)		問17		
44		就労の状態	二	現在のあなたの就労状態はどれですか	選択	問14				★
45	近所づきあい等の状況やたすけあいの意識に関する項目	支え合いの状況	二	あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人	選択	問15(1)			問10	
46			二	反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人	選択	問15(2)				
47			二	あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人	選択	問15(3)			問11	
48			二	反対に、看病や世話をしてくれる人	選択	問15(4)				
49		友人・知人等との交流や近所づきあいの状況	二	友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。	選択	問15(5)	問6	問13		
50	近所づきあい等の状況やたすけあいの意識に関する項目	地域のつながりへの意識		あなたの日々の暮らしの中で、地域とのつながり（住民同士の助け合い・支え合い等）の必要性についてどのように感じていますか。	選択	問16	問9	問18		
51				あなたの日々の暮らしの中で、地域とのつながり（住民同士の助け合い・支え合い等）を実際に感じることはありますか。	選択	問17	問10	問19	問5	
52		高齢者の役割期待について		あなたは、お住いの地域の人から何らかの役割を期待されたり、頼りにされたりしていると思いますか。（自分なりにできること、会・グループでの取りまとめ役、隣近所のちょっとしたこと、お手伝いやお願いごとなど）	選択	問18				★
53	心身の健康に関する項目	主観的健康観	二	現在のあなたの健康状態はいかがですか。	選択	問19(1)	問14	問4	問2	
54		主観的幸福感	二	あなたは、現在どの程度幸せですか。（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）	選択	問19(2)	問15	問5	問3	
55		うつ傾向	二	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	選択	問19(3)				
56			二	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	選択	問19(4)				
57		生活習慣	二	タバコは吸っていますか。	選択	問19(5)				
58		かかりつけ医の有無		日ごろから相談できるかかりつけ医はいますか。	選択	問19(6)	問16	問6		
59		病気・けが等での受診状況	二	現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。	選択	問19(7)		問7		
60			在	ご本人（調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。	選択		問17			

番号	調査項目		国 調査	質問文	回答 形式	調査票				新規
						一般	認定	2号	未把握	
61	介護予防（重度化防止）への取組に関する項目	健康増進・介護予防への取組状況		いきいきと充実した高齢期の生活を送るために、これから取り組んだほうがよいことはなんでしょうか。	選択	問20①		問8①		
62		健康増進・介護予防への取組状況		いきいきと充実した高齢期の生活を送るために、今実践していることはありますか。	選択	問20②		問8②	問6	
63		フレイルの認知度		「フレイル」という言葉を知っていますか。	選択	問21				★
64		介護予防（重度化防止）への意識		要介護度の維持・改善に向けて、取り組むべきと考えることは何ですか。	選択		問18①			
65		介護予防（重度化防止）への取組状況		要介護度の維持・改善に向けて、今実践している内容を教えてください。	選択		問18②			
66	認知症対策に関する項目	認知症の症状の有無	二	認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか。	選択	問22(1)	問21	問27		
67		認知症の相談窓口の認知度	二	認知症に関する相談窓口を知っていますか。	選択	問22(2)				
68		認知症に関する具体的な相談先		自分自身や家族に認知症の心配が出た際に、どこに（誰に）相談しようと思いますか。	選択	問22(3)	問22	問28		
69		新しい認知症観		認知症基本法に基づき、国では、認知症とともに希望を持って生きるという「新しい認知症観」を示しています。あなたは、「新しい認知症観」という言葉を聞いたことがありますか。また、その内容について知っていますか。	選択	問23	問23	問29		★
70				認知症になった人について、あなたがもっとも近いと感じるイメージをご回答ください。	選択	問24	問24	問30		★
71				認知症の人とともに生きる、優しい地域づくりとして以下のことは実現できていると思いますか。	選択	問25	問25	問31		
72		認知症対策の認知度、予防への取組等		認知症になるのを遅らせる、認知症になっても進行を穏やかにするために効果があると考えられるものの中で、ご自身で取り組んでいきたい（現在取り組んでいるものを含む）ことはありますか。	選択	問26	問26	問32		
73		認知症対策の認知度、予防への取組等		区が実施している認知症施策を知っていますか。	選択	問27	問27	問33		
74		若年性認知症への対策		若年性認知症の支援には何が必要だと思いますか。	選択			問34		
75	今後の生活についての意識に関する項目	要介護状態となったとき、どのような生活を希望するか		万が一介護が必要になった場合、どのような暮らし方を希望しますか。	選択	問28		問35		
76		今後、どのような暮らしを希望するか		今後、どのような暮らし方を希望しますか。	選択		問28			
77		今後の生活に対する希望（施設等への入居・入所意向）	在	現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。	選択		問29			
78		拡充が望ましいサービス		今後の在宅生活の継続において、必要と感じる支援・サービスを教えてください。	選択	問29	問30			
79		在宅での生活を継続するために必要な支援やサービス		介護が必要になっても在宅で安心して暮らし続けるために、必要と感じることを教えてください。	選択	問30		問36		
80	在宅医療に関する項目	在宅医療の利用状況	在	現在の暮らしにおける、在宅医療サービスの利用の有無を教えてください。	選択		問19			
81		在宅医療に対する意見		在宅医療サービスに対する考えを教えてください。	選択	問31	問20	問37		

番号	調査項目		国 調査	質問文	回答 形式	調査票				新規
						一般	認定	2号	未把握	
82	家族介護に関する項目	介護経験の有無（現在を含む）		これまでにご家族や親戚の方等の介護を行った経験はありますか。	選択	問32		問38		
83		介護にあたって不安なこと		あなたが現在行っている中で不安に思う介護の内容、あるいは今後誰かの介護をすることを想像したときに不安を感じるものを教えてください。	選択			問39		
84		介護と就労の両立に関する考え		介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。	選択			問40		
85				勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。	選択			問41		
86	最終段階の医療やケアに関する項目	アドバンス・ケア・プランニングについての認識		あなたが人生の最終段階で受けたい、あるいは受けたくない医療やケアについて、ご家族や医療・介護の関係者と、どの程度話し合いたいと思いますか。	選択	問33	問31			★
87	区の取組への意見	地域包括支援センターの認知度		「地域包括支援センター」があること、相談や必要に応じたサービスを提供してくれることを知っていますか。	選択	問34	問32	問42	問13	
88		区の施策の認知度		大田区等が実施する高齢者向けの事業・サービスについて、①知っているサービスを教えてください。	選択	問35 ①	問33 ①		問14 ①	
89				大田区等が実施する高齢者向けの事業・サービスについて、②今後利用したいサービスを教えてください。	選択	問35 ②	問33 ②		問14 ②	
90		区が重点的に取り組むべきこと		今後、大田区が特に力を入れて取り組むべきと考える事業・サービスを教えてください。	選択	問36	問34	問43	問15	
91		区の広報		区が実施するイベントや講座を知るきっかけを教えてください。	選択				問16	
92		区の高齢者福祉施策等への意見		大田区の高齢者福祉施策や介護保険事業、及び認知症施策についてご意見やご要望がありましたら、自由にご記入ください。	自由	問37	問35	問44		
93	介護保険サービス利用状況	介護保険サービス利用の有無	在	令和7年10月の1か月の間に、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用しましたか。	選択		問36			
94		（利用していない場合）利用していない理由	在	介護保険サービスを利用していない理由を教えてください。	選択		問37			
95	生活支援サービス（介護保険以外）の利用状況	生活支援サービス利用状況	在	現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。	選択		問38			
96		拡充が望ましいサービス	在	今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。	選択		問39			

番号	調査項目		国 調査	質問文	回答 形式	調査票				新規
						一般	認定	2号	未把握	
97	主な介護者の状況 (介護者本人が回答)	家族等からの介護の有無	在	ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）。	選択		問40			
98		介護離職の有無	在	ご家族やご親族の中で、ご本人（調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）。	選択		問41			
99		主な介護者の属性 (年齢・続柄等)	在	主な介護者の方は、どなたですか。	選択		問42			
100			在	主な介護者の方の性別について、ご回答ください。	選択		問43			
101			在	主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。	選択		問44			
102		介護者が行っている介護の内容	在	主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。	選択		問45			
103		介護の負担感	在	現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）。	選択		問46			
104		介護と就労の両立に関する考え	在	主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。	選択		問47			
105			在	主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか。	選択		問48			
106			在	主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。	選択		問49			
107			在	主な介護者の方は今後も働きながら介護を続けていけそうですか。	選択		問50			
108	介護人材・ボランティアについて	介護人材不足に関する考え		介護を必要とする高齢者の増加に対して、介護人材の担い手が不足していることを知っていますか。	選択			問20		★
109				急速な少子高齢化による現役世代の減少で労働力不足が進んでいます。これにより、今後、ホームヘルパー等介護人材の確保が一層困難になると想定されていますが、あなたや家族が要支援・要介護認定を受け、介護サービスを受ける場合、介護の専門職でないボランティアに依頼しても良いと思うことは何ですか。	選択			問21		★
110		有償ボランティアについて		高齢者の生活支援を目的としたボランティア活動について、対価がある場合とない場合のどちらが望ましいと思いますか。	選択			問22		★
111				高齢者の生活を支援するためのボランティア活動に関して、あなたの考えに最も近いものをお選びください。	選択			問23		★
112				あなたがボランティアとして活動する場合、どのような内容であれば手伝っても良いと思いますか。	選択			問24		★
113				あなたが有償ボランティアとして活動する場合、適切な対価は1時間あたりいくらだと考えますか	選択			問25		★
114				あなたが有償ボランティアを依頼する場合、報酬は1時間あたりいくらが適切だと考えますか	選択			問26		★

2. 調査項目一覧（介護サービス事業者等調査）

番号	大項目	小項目	質問文	回答形式	事業者	居宅介護	地域包括	新規
1	A 事業所の属性	運営法人の種別	貴事業所を運営する法人の法人種別を教えてください。	選択	問1	問1	問1	
2		提供しているサービスの種類（介護保険）	貴事業所で提供されている介護保険サービスをお答えください。	選択	問2	問2	問2	
3	B 事業所の現状	近年の事業収支状況の推移	貴事業所における、 ○令和3（2021）年度の事業収支について教えてください。 ○令和6（2024）年度の事業収支について教えてください。	選択	問3	問3	-	
4		サービス提供における新型コロナウイルスの影響	令和6（2024）年度の実績には、新型コロナウイルス感染症が発生する前の平成30（2018）年度の実績と比較して、利用者数や利用回数の増減が見られますか。	選択	問4	問4	-	
5		事業所の職員数（法人全体）	運営法人及び貴事業所の職員数（令和7（2025）年10月1日現在）について教えてください。 (1)法人全体の職員数について教えてください。	選択	問5（1）	問5（1）	-	
6		事業所の職員数（サービス提供体制）	(2)また、そのうち、貴事業所にはがきの宛名の下に記載されたサービスの提供に携わっている職員数を教えてください。	選択	問5（2）	問5（2）	-	
7		介護保険外サービスの提供の有無（内容を含む）	貴事業所で提供されている、介護保険以外のサービス（高齢者に対するサービス）をお答えください。	選択	問6	問6	-	
8	C 今後の事業継続に向けた考えや課題等	事業継続への考え（今後の見通し）	今後のサービス提供の継続に関し、どのように感じますか。	選択	問7	問7	問7	
9		事業継続に向けた課題	今後の事業継続に関し、不安なことや課題と感じているのはどのようなことですか。	選択	問8	問8	問8	
10		今以上のサービス供給への対応可能性	今後は高齢化の進展に伴い、介護サービスの需要が増加することが見込まれます。令和11（2029）年頃を見越して、貴事業所で提供している介護サービスの需要増加に対応してサービス提供を増やすことは可能だと思いますか。	選択	問9	問9	問9	
11		事業所の災害対応の状況、課題	災害時や緊急事態等の事業継続について、貴事業所ではどのような準備を進めていますか。	選択	問10	問10	問10	
12			災害時や緊急事態等の事業継続に向けた準備について、どのようなことが課題となっていますか。	選択	問11	問11	問11	
13	D 人材の確保・育成・定着に関する取組状況	介護人材に関する状況	現在、サービスの提供に十分な人材を確保できていますか。 ○直接的にサービス提供に携わる人材 ○マネジメント人材	選択	問12	問12	問12	
14			貴事業所における、直近1年間の職員の採用及び離職の状況について教えてください。	数値	問13	問13	問13	
15		人材の確保に関する取組状況	貴事業所における人材確保のため、 (1) 実際に行っている取組について教えてください。	選択	問14（1）	問14（1）	問14（1）	
16			(2) 今後必要とする取組について教えてください。	選択	問14（2）	問14（2）	問14（2）	
17		人材の育成に関する課題	貴事業所における人材育成のため、 (1) 実際に行っている取組について教えてください。	選択	問15（1）	問15（1）	問15（1）	
18			(2) 今後必要とする取組について教えてください。	選択	問15（2）	問15（2）	問15（2）	
19		人材の定着に関する課題	貴事業所における人材定着のため、 (1) 実際に行っている取組について教えてください。	選択	問16（1）	問16（1）	問16（1）	
20			(2) 今後必要とする取組について教えてください。	選択	問16（2）	問16（2）	問16（2）	
21		人材の確保・育成・定着に関する課題	人材の確保や育成・定着に関し、課題となっているのはどのようなことですか。	選択	問17	問17	問17	
22		外国人・高齢者等の人材の受入状況	貴事業所における、高齢者（65歳以上）、障がい者、外国人人材について、 (1) 令和7（2025）年10月1日現在の受入状況を教えてください。	数値	問18（1）	問18（1）	問18（1）	
23		外国人・高齢者等の人材の今後の活用に関する考え	(2) 今後の活用に関する考えを教えてください。	選択	問18（2）	問18（2）	問18（2）	
24		外国人人材の活用に関する課題	外国人人材の活用に関し、課題となるのはどのようなことですか。	選択	問19	問19	問19	

番号	大項目	小項目	質問文	回答形式	事業者	居宅介護	地域包括	新規
25	E サービスの質向上や業務改善に関する取組	業務改善への取組	貴事業所では、サービスの質の向上や業務効率の改善に向けて、どのような取組を行っていますか。	選択	問20	問20	問20	
26		働きやすい職場環境づくりへの取組の課題	貴事業所において、働きやすい環境づくりを進める上での課題はどのようなことですか。	選択	問21	問21	問21	
27		ICT・ロボット等の導入状況	貴事業所で活用している、ICT機器や介護ロボット等を教えてください。	選択	問22	問22	問22	
28		ICT・ロボット等の導入に関する課題等	ICT機器や介護ロボット等の導入に関して課題となったこと、あるいは現在課題となっていることについて教えてください。	選択	問23	問23	問23	
29	F ハラスメントに関する取組	ハラスメントの状況	利用者・家族等からのハラスメントについてうかがいます。 (1)貴事業所において、概ね直近1年以内に、利用者・家族等からハラスメントと考えられる行為を受けたことがありますか。	選択	問24(1)	問24(1)	問24(1)	★
30			(2)利用者・家族等からのハラスメントにおいて特に多いと感じるものはどのようなことですか。	選択	問24(2)	問24(2)	問24(2)	★
31		ハラスメント対応への取組状況	利用者・家族等からのハラスメント対策についてうかがいます。 (1)利用者・家族等からのハラスメントに対する、貴事業所(組織)の防止対策の整備状況について教えてください。	選択	問25(1)	問25(1)	問25(1)	
32			(2)利用者・家族等からのハラスメントが発生した場合の、事業所の対応について教えてください。	選択	問25(2)	問25(2)	問25(2)	★
33	G 認知症に関する取組等	認知症の方への取組状況	認知症の利用者への対応強化について、どのような取組を行っているか教えてください。	選択	問26	問26	問26	
34		「新しい認知症観」の認知度	認知症基本法に基づき、国では、認知症とともに希望を持って生きるという「新しい認知症観」を示しています。「新しい認知症観」という言葉を聞いたことがありますか。また、その内容についてご存じですか。	選択	問27	問27	問27	★
35		「新しい認知症観」の認知度向上のため取組	「新しい認知症観」を広めるためにどのような取組が必要だと思いますか。	選択	問28	問28	問28	★
36	H 科学的介護や看取り等の取組	「LIFE」の導入状況	国では、科学的介護のための情報システムである「LIFE」の普及や活用の促進を図っていますが、貴事業所の取組において、「LIFE」を導入していますか。	選択	問29	問29	-	
37		要介護やADLの改善のための取組	利用者の要介護度やADLの改善のために、どのような取組を行っているか教えてください。	選択	問30	問30	-	
38		看取りへの取組状況	利用者の看取りへの対応強化について、どのような取組を行っているか教えてください。	選択	問31	問31	-	
39	I 困難事例等	困難事例対応状況とその内容	貴事業所では、次に挙げるような複合的な課題を抱えた困難事例等について、利用者やその家族から相談を受けたことはありますか。相談を受けたことのある事例を教えてください。	選択	問32	問32	問32	
40		困難事例対応時の連携先	複合的な課題を抱えた困難事例等の相談を受けたときに、(1)現在どのような機関や団体と連携していますか。	選択	問33(1)	問33(1)	問33(1)	
41		困難事例対応する際に希望する連携先	(2)今後、どのような機関や団体と連携したいですか。	選択	問33(2)	問33(2)	問33(2)	
42		困難事例対応時に必要な支援	困難事例等への対応に関し、必要だと考える支援を教えてください。	選択	問34	問34	問34	
43	J 区の取組	今後、充実が必要と思われる生活支援の内容	地域での高齢者の在宅生活継続のために、さらに充実が必要と感じる支援・サービス等についてご回答ください。	選択	問35	問35	問35	
44		今後、充実してほしい事業者に対する支援メニュー	今後、事業者に対する支援として充実が望ましいものをご回答ください。	選択	問36	問36	問36	
45		区の高齢者福祉施策等への意見	大田区の高齢者福祉施策や介護保険事業運営、地域包括ケアシステムの深化・推進等についてご意見やご要望がありましたら、自由にご記入ください。	自由	問37	問37	問37	

番号	大項目	小項目	質問文	回答形式	事業者	居宅介護	地域包括	新規
46	K ケアマネジメントの質の向上に向けた取組	ケアマネジメント向上に向けた取組状況	貴事業所において、個々のケアプランの内容をどのように確認・点検していますか。	選択	-	問38	-	
47			貴事業所では、新規利用者のケアマネジメントの実施状況（アセスメントから1回目のモニタリングまでのプロセス）の進捗をどのようにして確認していますか。	選択	-	問39	-	
48		ケアマネジメント向上に向けた取組状況	貴事業所では、ケアマネジメントの質の向上に向けて、どのような取組をしていますか。	選択	-	問40	-	
49		大田区のケアマネジメント基本方針の認知度	大田区では、ケアマネジメントに携わる全ての者が、ケアマネジメントに関する統一的・基本的な考えを共有したうえで、サービスの利用者に寄り添い、適切に働きかけていくことを目指し、「大田区のケアマネジメントに関する基本方針」を策定しています。この基本方針について、どの程度ご存じですか。	選択	-	問41	-	
50	L 介護サービスの提供状況	介護サービスの充足度	地域の介護サービス事業所数や種類について、十分だと思いますか。	選択	-	問42	-	★
51			不足していると思う介護サービスを教えてください。	選択	-	問43	-	★
52	M 他機関との連携状況	医療との連携状況	貴事業所では、医師や医療機関との連携は十分に取れていると思いますか。	選択	-	問44	問44	
53		地域の情報収集の状況	貴事業所では、地域の様々な支援・サービス等（インフォーマルサービス等）の情報をどのように収集し、事業所内で共有していますか。情報源として活用しているものを教えてください。	選択	-	問45	問45	
54		他のサービスや専門職との連携状況	貴事業所では、他の介護サービス事業所や専門職等との連携は十分に取れていると思いますか。	選択	-	問46	問46	
55		多職種連携を通じて取り組んでいること	貴事業所において、他の介護サービス事業所や専門職等との連携を通じ、利用者へのサービス提供に向けてどのような効果（気づき）が得られましたか。	選択	-	問47	問47	
56		多職種連携を進める上での課題等	他の介護サービス事業所や専門職等との連携を進める上で、課題となっているのはどのようなことですか。	選択	-	問48	問48	
57	N 認知機能評価	認知症早期発見のための取組	認知症の早期発見に向け、貴事業所を利用される高齢者に対し、以下のような取組を行っていますか。	選択	-	-	問49	
58		認知機能評価の評価者及び評価方法	貴事業所を利用される高齢者に認知症の疑いがある場合の評価についてうかがいます。 (1)貴事業所の誰が評価を行っていますか。	選択	-	-	問50 (1)	
59			(2)貴事業所ではどのように評価を行っていますか。	選択	-	-	問50 (2)	
60		認知機能評価の課題	貴事業所を利用される高齢者に認知機能の評価を実施する、または実施を試みるうえで、課題となることはどのようなことですか。	選択	-	-	問51	
61	O 移動手段について	高齢者の移動手段	貴事業所では、管轄内の公共交通を利用することで、高齢者の移動手段は足りていると思いますか。	選択	-	-	問52	★
62			具体的にどのような場面で足りていないと思いますか。	自由	-	-	問53	★